

神奈川山梨教会連合会たより

かりん

「戦後80年を迎えて」

金光教神奈川山梨教会連合会

会長 山田信二



今年は、第2次世界大戦が終結して80年です。それは、各地

での空襲、沖縄地上戦、原爆から80年ということでもあります。そこで、当連合会の基本方針の冒頭に「戦後80年を迎え」というフレーズを入れました。

歴史を振り返れば、金光教もあの戦争では多大な苦しみと損失を受けました。私の母は神奈川教会の出身ですが、1945年5月29日の横浜大空襲を体験しました。大

きな教会の建物はあつという間に焼失したそうです。その他にも多くの教会が建物を失いましたし、そのまま復興できなかった教会もあります。信奉者の住居も同じことであり、中には人的な被害を受けた方たちもあつたことでしょう。

また、すべての人が神の氏子であると教えられるこのお道が、氏子同士の殺し合いである戦争に協力したということもありました。教団としてはある意味で教えを捻じ曲げ、教師信徒を問わず、道の教えに生きる青年たちがその戦争に駆り出されて行きました。物的、人的な被害もさることながら、神様の願い、教祖様の教えに反した生き方をせねばならないということも、戦争の恐ろしさであります。

今、80年という節の年を迎え、そのような苦しみを二度と現実のものにしてはいけな、また現在行われている戦争の解決を祈り、平和のための行動していかねばなら

ない、という決意を新たにしたいと思いません。

連合会の活動も、本教の大目標である「世界の平和と人類の助かり」という願いを根底に持つて進めて行きたいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2025年度

神奈川山梨教会連合会総会報告

去る1月19日(日)午後1時30分より、神奈川教会を会場に「2025年度神奈川山梨教会連合会総会」が開かれました。昨年に続いて対面で開催された今年度の総会は、各教会を代表する教師8名、信徒10名が出席して、2024年度の事業報告案、決算案、そして2025年の事業計画案、予算案の審議が行われました。委任は教師8名、信徒8名でした。

開会のご祈念の後、昨年、教師在職40年の褒賞を受けられた福田明師(神奈川)へ



お祝金が贈られ、会場からは祝意の拍手が鳴り響きました。

続いて山田連合会長（横浜西）より開会のあいさつがなされ、母親から伝え聞いた空襲後の惨状や現在世界で起こっている戦禍を踏まえて、基本方針に「戦後80年を迎え」という文言を入れ、それを意識しながら今年度の連合会活動を進めていきたいとの願いが語られました。

その後、出欠状況について、18教会中、出席11教会、委任7教会で、「過半数の教会の出席で成立する」という規約に照らし合わせて、総会は成立した旨が報告され、次いで、川込師（大明）を議長に選出して議事が進められました。

議事では、まず村田総務部長（子安）より24年度の事業報告案と決算案が説明されました。質疑応答の後、本年度の事業計画について、全体を通して山田会長が、教師部について横山部長（丸子）、信徒部については山口部長（子安）、そして研修会について南担当（登戸）からそれぞれ説明されました。

続いて村田部長より、予算案が説明され、その他の事項を含めて質疑応答と意見交換がなされ、全員の賛成をもって事案は承認

されました。

その後、山口信徒部長より「私は昭和21年生まれ、この80年を平和な世界に生活させていただいている。神様のお守りをありがたいことと今思われる。この一年、このことを頭に置いて生活を進めてまいりたい。それが神様や周りの人へのお礼になると考えている」とあいさつがなされ、閉会のご祈念の後、散会となりました。散会后、希望者は会場を移して懇親会を行い、親睦を深めました。

総会資料、記録など必要がありましたら総務村田までお申し出ください。

本年度も、諸事業の上にご理解とご支援、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。



2024年度事業報告（抜粋）

▼山梨県布教130年記念山梨集会

① 教師信徒研修会

6月15日（土） 甲府教会

講話…山田信二師（横浜西）

「金光教の信心のすばらしさ」

発表…長尾健次氏（甲府）、大貫孝一氏（野毛）

参加者 65名

別室で子ども対象のミニ集会を実施（参加者4名）

② みんなの交流会 山梨散策

6月16日（日）本坊酒造マルス山梨ワイナリー、山梨県立美術館・文学館

参加者 44名

③ 記録冊子の刊行 180部作成、各参加者へ配布

▼第2回グラウンドゴルフ大会

9月16日（祝）片倉北公園

参加者 29名

大会後、別会場で懇親昼食会を実施

▼女性のつどい

7月14日（日）藤沢教会

発表…横井美代子氏、小林佳代子氏、吉田文枝氏（いずれも藤沢教会信徒）

「私の信心」

参加者 35名

▼講話と夕食の会

12月7日（土）神奈川近代文学館

防災出前講座（ひかりプロジェクト）

参加者 14名（夕食会参加9名）

▼ホームページ

連合会の行事報告、かりん各号、教会掲示板を掲載し、随時更新した。

▼社会活動

○使用済み切手・プリペイドカード…藤沢教会 少年少女会連合本部を通じて

2025年度事業計画（抜粋）



キリスト教団体、途上国への医療支援。
 ○ボトルキャップ・神奈川教会 幸ヶ谷
 小学校へ委託、途上国への医療支援
 ○プルトップ・平塚教会 前橋教会へ委
 託、前橋市社協で回収後換金
 ○使用済みタオル・各教会（ひかりプロ
 ジェクト）※被災地での支援に活用、
 未使用品も可。

1. 総会

1月19日（日）

会場：神奈川教会

議事：2024年度事業報告・決算の
 審議、2025年度事業計画・予算の
 審議、その他

2. 運営委員会

年5回開催

3. 教会連合会長選挙

10月6日（月） 14時開票

投票会場：横浜西教会

4. 教師信徒研修会

7月5日（土）会場未定

講師：太田明氏（大崎教会 教団会信
 徒議員 全国信徒会委員長）

5. みんなの交流会

3月26日（水）

会場：キリンビール横浜工場、生麦教

6. 会

女性のつどい

7月13日（日）

会場：平塚教会

発表：宇佐美陽子氏（平塚教会信徒）

7. 第3回グラウンドゴルフ大会

10月13日（月・祝）

会場：片倉北公園

※終了後、希望者は別会場で昼食会（昼
 食代は各自負担）

8. 講話と夕食の会

12月6日（土）会場、時間は未定

内容：信徒発表 清水一則氏（神奈川）、
 山本和正氏（横浜西）、原田伸一氏（丸
 子）、山田光治氏（相模原）

9. 教師部

①教師会 4回開催（3月14日（金）奥
 川師、6月 村田師、8月 南師、12
 月 安達師が発表）

② 定期講話の実施 3月～11月
 ③ ひいらぎの会の開催 2回開催
 ④ 「教師部通信」の発行

10. 信徒部

①委員会 3月1日（土）かながわ県
 民センター（以降、随時開催）
 ②企画部会 随時開催

11. ホームページ

（総務部）
 連合会活動の周知、広報を行う
 URL = <http://www.kyokairengokai.jp>

12. 連合会だより

『かりん』の発行 年4回

13. 社会活動（信徒部）

各種収集活動の実践

○切手・プリペイドカード・藤沢教会

○ボトルキャップ・神奈川教会

○プルトップ・平塚教会

○使用済みタオル・各教会（ひかりプ
 ロジェクト）※洗濯済みのもの、手
 拭いは不可。未使用品も受け付け。

14. その他

当教会連合会を包含する団体の活動へ
 の参画など

① 山梨県下の教会による活動

② 首都圏フォーラム活動（会長・担当
 副会長）…フォーラム活動への協力
 とフォーラム会議への出席

③ 関東教区信徒会活動（信徒部）…関
 東教区信徒会活動への参加

④ 神奈川県宗教連盟活動・宗教文化講
 座など、神奈川県宗教連盟活動への
 参加



年頭のご本部境内の様子

2025 (令和7) 年度

天地金乃神大祭日程

教会名	日 程
甲府教会	4月20日(日)13時30分
南甲府教会	開教130年記念祭 4月21日(月)11時
小田原教会	4月27日(日)14時
登戸教会	4月27日(日)13時30分
横浜西教会	4月27日(日)13時30分
大明教会	4月27日(日)13時30分
藤沢教会	4月29日(祝)11時
横須賀教会	5月3日(祝)13時30分
子安教会	5月3日(祝)13時30分
丸子教会	5月3日(祝)11時
相模原教会	5月3日(祝)10時30分
生麦教会	5月5日(祝)13時
平塚教会	5月10日(土)13時
鎌倉稲村ガ崎教会	5月11日(日)13時
野毛教会	5月17日(土)13時30分
神奈川教会	5月25日(日)11時30分
武蔵小杉教会	5月25日(日)11時

ひいらぎの会報告

去る12月3日(火)に、「横浜市民防災センター」において研修会を開催しました。

研修に先立ち、昼食懇談会を行いました。久し振りの再会もあり、それぞれの近況や、今、興味を持っていること等をゆつくりと語り合うことができました。参加者は9名でした。

防災センターでは、「地震・火災体験ツアー」(60分)に参加しました。

始めに訓練用消火器を使った消火体験や、実際に煙が充満した部屋からの避難行動を体験しました。次に、家庭のリビングをイメージした部屋の中で、地震や火災などの災害を疑似体験し、災害から身を守る行動や避難までの流れを学びました。また、横浜で起こりうる災害をドラマにした映画の鑑賞もありました。最後に、震度7の揺れが体験できる装置に乗り、過去発生した地震、戸建住宅や超高層ビルでの揺れなどの体験ができました。

昨年は元日の能登半島地震を始め、多くの自然災害が発生し、また8月には「南海トラフ地震臨時情報」が出され、その対応

に、当連合会の管轄地域でも多くの人に戸惑いが広がりました。「講話と夕食の会」でも「防災講座」が開かれましたが、改めて、来るべき時の教会における「備え」の重要性を感じた研修となりました。

(報告 山田浩子)

編集係より

本年の総会が無事に終了し、各行事が、その開催の時を待っています。

巻頭の挨拶では、山田会長から「戦後80年」という言葉について、その願いが綴られています。

80年前のことはもとより、現在ある戦争をも含み込んだ祈り。そして、「防災」をテーマにした行事が昨年末に行われ、明けて能登の1年、阪神淡路からの30年という時節を迎えました。また、2月に入ってからの寒波による大雪などの自然災害の頻発。更には、様々な関係性の中で生き辛さを抱える人など、「平和ならざること」が多く存在するこの頃です。

「戦後80年」をベースとして、想像力豊かな祈りが求められている…そんな思いがしています。(M)

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 山田信 二

横浜市泉区下飯田町926・23

〒245-0017 金光教横浜西教会内